



東方経済フォーラムニュース

V・プーチン大統領は、V・ミクルシェーフスキ沿海地方知事と会談し、フォーラムの成功の確信を示した。極東1ヘクタール、ウラジオストク自由港、TOR(先進発展地域・新経済特区)を通じて沿海地方の開発を目指す大規模プロジェクトの実現が話題になった。

(Primorsky.ru)

「極東連邦大学キャンパスは東方経済フォーラムの参加者やお客様の宿泊施設としての準備完了」とV・ニコラエフ極東連邦大学第一副学長が述べた。34,440人の受け入れを予定。また、東方経済フォーラムの参加者のために当大学の化学研究について紹介するツアーを用意した。

(Interfaxより)

中国の大手技術企業LeEco社と極東開発基金は、LeLiveという通商を中心とする取引プラットフォームの構築で合意し、合意書に調印した。このプラットフォームは、高い環境基準に見合うロシアの農業製品の生産から促進、中国消費者向け販売までの全面的に支援するツールとなると予定。

(Primeより)。

「東方経済フォーラムが毎年定期的で開催されることは、極東地域の経済発展のみならず、交通ハブとしての潜在力を実現することにもつながる」とM・ソコロフ

シア連邦交通大臣が期待を表明した。また、フォーラムで達した成果に基づいて極東地域の交通インフラの整備・開発が行われると共に、フォーラムの成果はアジア諸国との経済関係の構築に役立つと指摘した。

(貿易・産業新聞より)

ウラジオストクのユーラシアダイヤモンドセンターの創立プロジェクトが東方経済フォーラムにおいて展示される。プロジェクトの実現には4.5億ルーブルの投資が必要とされる。新規に設立されるセンターは、ダイヤモンド業界の企業を集約するインフラクラスターとして、ウラジオストクの自由港内に建設され、その中には、ダイヤモンド原料を採掘販売する企業、ダイヤモンドおよびジュエリーの製造企業、宝石学研究所、銀行、保険会社、特殊輸送会社などの企業と、連邦税関庁、国家監督機関などの国家機関を包括する。

(DV-ROSSより)

「このフォーラムは極東地域の経済統合に貢献する効果的なツールとなる」とI・パブロフ・「ロスコングレス」基金副総裁兼東方経済フォーラム理事長が表明した。パブロフ理事長の話では、今回のフォーラムの特徴は参加者が極東地域のポテンシャルを紹介するだけでなく、すでに実施中の開発プロジェクトの初期成果についても報告することにある。

(「極東キャピタル」より)

ロシア連邦観光局と天然資源・環境省は東方経済フォーラムの場を借りて、体験型観光農業・環境観光に関する協力合意を締結する予定。

(Glasnarod.ru)

アメリカの金融商品取引会社Wellington Management Internationalがロシア極東地域のポテンシャルの把握を目指し、東方経済フォーラムに参加する見込み。地域開発プロジェクトや、自動車産業、エネルギー産業などの分野への投資機会を探る。

(TASS通信)

対外経済銀行が株主である森林・林業の企業を統合し、極東地域林業・木材クラスターを創立することについての提案書を作成している。クラスター創立に関する合意書は東方経済フォーラムで調印する見通し。P・ビリビン、対外経済銀行林業総合体経営局局長の話では、対外経済銀行が極東地域林業・木材クラスターに対しプロジェクト開発のために投資する総額は400億ルーブルと予想される

(Vedomostiより)

サハ共和国は東方経済フォーラムで22のプロジェクト投資総額6480 億ルーブルを提示する見通しであることを、サハ共和国経済省次官、E・チーキンが述べた。プロジェクトは、交通、造船、観光、工業、農業などの分野に渡る。

(ニュース@rambler.ru)

「東方経済フォーラムがロシア極東地域のみならず、アジア太平洋地域全体の発展の見通しについて議論する場になることを期待している。また、ロシア大統領とアジア太平洋諸国首脳との会談の場ともなったことは、このフォーラムの意義をさらに高めることだ」とD. マンツーロフ、ロシア連邦産業貿易大臣が期待感を示した。対外貿易高の増益や産業・情報技術協力の拡大を目指す上で、アジア太平洋諸国との協力関係を非常に重視していると述べた。

(Minpromtorg.ruより)

沿海地方気象庁によると、東方経済フォーラムが開催される期間、ウラジオストクでの大雨は予想されていない。沿海地方の天気予報は、沿海地方気象庁の公式サイトで公開中。

(forumvostok.primgidromet.ru)

極東地方のニュース

D. メドヴェージェフ首相は「Amuro-Khinganskaya」TOR(先進発展地域・新経済特区)の創立についての決定書に調印した。極東発展省の評価では、これにより1,000人用雇用と2016～2025年の税収112億ルーブルが確保され、投資家に提供する税制の優遇措置は80億ルーブル以上に上ると予想される。

アムール州において大豆・穀類種子生産工場の第1工場の落成式が行われる。落成式には、A・トカチョフ農業大臣が参加する予定。このような工場はシベリア・ロシア極東地域ではじめてで、生産から加工や保管まで一貫して行われると予想される。